

# 人工心肺を用いない心拍動下冠動脈バイパスグラフト術(Off-Pump Coronary Artery Bypass grafting: OPCAB)におけるカルペリチド(商品名:ハンブ®)投与による心保護作用の後ろ向き比較検討

2008年1月1日から2014年9月30日までに、日本医科大学付属病院中央手術室にて虚血性心疾患の診断のもとOPCABを受けた患者さん

## 研究協力をお願い

当科では「人工心肺を用いない心拍動下冠動脈バイパスグラフト術(Off-Pump Coronary Artery Bypass grafting: OPCAB)におけるカルペリチド(商品名:ハンブ®)投与による心保護作用の後ろ向き比較検討」という研究を行います。この研究は、2008年1月1日～2014年9月30日までに、日本医科大学付属病院心臓血管外科にて、虚血性心疾患のためにOPCABを受けられた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名: 人工心肺を用いない心拍動下冠動脈バイパスグラフト術(Off-Pump Coronary Artery Bypass grafting: OPCAB)におけるカルペリチド(商品名:ハンブ®)投与による心保護作用の後ろ向き比較検討

研究期間: 2017年1月6日(倫理委員会承認日)～2018年12月31日

研究責任者: 日本医科大学付属病院 麻酔科・ペインクリニック 岸川 洋昭

### (2) 研究の意義、目的について

本研究の目的は、OPCABを実施する虚血性心疾患患者に対し、カルペリチドのOPCAB中の静脈内投与が、術後の心機能、心関連イベント発生にどのような効果があるか、OPCAB中カルペリチドを投与した患者さんと投与しなかった患者さんで後ろ向き比較検討し、明らかにしていくことです。本研究は、OPCAB中から実施可能な心筋保護戦略を構築する足掛かりになると考えます。

### (3) 研究の方法について

2008年1月1日～2014年9月30日までに日本医科大学付属病院心臓血管外科にて、虚血性心疾患のためにOPCABを受けられた20歳以上90歳未満の成人患者さんを、OPCAB中カルペリチドの静脈内投与を受けた患者さん群と、カルペリチドの静脈内投与を受けなかった患者さん群に分け、術前因子(患者背景、術前合併症など)・術中麻酔因子(手術・麻酔・手術室在室時間、各種麻酔薬・輸液投与量など)・術後因子(術後早期合併症、退院日数、術後1年後までの心機能・心関連イベント発生など)について群間比較・検討します。術前ショックを呈した患者さん、術前から血液透析が導入された患者さんは研究対象からはずさせていただきます。

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 麻酔科・ペインクリニック 講師 岸川 洋昭

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号: 03-3822-2131(代表) 内線: 4490

メールアドレス: h-k@nms.ac.jp